

# 有題 無題

## SDGsのつなげる力

持続可能な開発目標 (SDGs) が持つ「アキターをつなげる力」を実感する機会があった。

SDGsの実施について、先進的な取り組みを行う企業や団体、自治体などを政府が表彰する第1回「ジャパンSDGsアワード」において、最高賞の「SDGs推進本部長（内閣総理大臣）賞」を獲得した北海道下川町と、特別賞の「SDGsパートナーシップ賞」を受賞した吉本興業が7月にSDGs連携協定を締結、「プロジェクト「下川町株式会社」」を始動させた。

下川町の「ローカルカ」と吉本興業の「エンタメカ」を掛け合わせることで、下川町の魅力を高め、発信力強化を目指した協業で、同授賞式での

国連広報センター所長 根本 かつおる



ねもと・かつおる 86年(昭61)東大法卒、同年テレビ朝日入社。米コロムビア大学大学院国際関係論修士修了。96年から国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) で難民支援活動に従事。世界食糧計画 (WFP) 広報官、国連UNHCR協会事務局長なども歴任。13年から現職。神戸市出身。

## 課題解決、自ら考え行動を

名刺交換がきっかけで実現したパートナーシップ。分野の異なるアクターをつなげるSDGsの力が発揮されたと言える。

人口約3400人の少子高齢化に直面する下川町は、豊かな森林資源を生かした木材・木製品の生産、健康や教育への活用、バイオマスの再エネ活用、再エネ熱供給システムを核としたコンパクトタウンなどに取り組み、最近では人口が純増

に転じている。一方、吉本興業は全国47都道府県に「住みやすい」を配置。エンタメ力で地域を元気にする活動を2011年から推進、地域活性化に注力している。

この両者がタッグを組み、まだ発信しきれていない下川町の魅力を、吉本興業の強みである「コンテンツ力」「プロモーション力」「デジタル展開力」を通じて最大限に引き出し、より大きな規模での社会価値創造と最大化を目指している。記者発表では、西川きよし氏ら吉本の人気芸人が登場したほか、後日、下川町で開かれたイベントでは、吉本芸人のどろサーモンが参加。長かった下積み生活のエピソードを、SDGsの17ゴールのひとつである「貧困をなくそう」に絡めて披露し、会場を沸かせた。異業種間コラボレーションがどんな力を発揮するか。今後が楽しみだ。

模での社会価値創造と最大化を目指している。記者発表では、西川きよし氏ら吉本の人気芸人が登場したほか、後日、下川町で開かれたイベントでは、吉本芸人のどろサーモンが参加。長かった下積み生活のエピソードを、SDGsの17ゴールのひとつである「貧困をなくそう」に絡めて披露し、会場を沸かせた。異業種間コラボレーションがどんな力を発揮するか。今後が楽しみだ。

SDGsは、前身のミレニアム開発目標 (MDGs) とは異なり、先進国に暮らす私たちに直接関わる世界目標だ。その担い手も、政府や国際機関を超えて、企業・市民社会・自治体などの非政府主体がリーダーシップを発揮することが不可欠。世界レベルで課題を考え、自らが行動を起こす「Think Globally, Act Locally」の精神が重要になる。SDGsという包括的な枠組みを通じて、より大きな波及効果を目指す「つながり」が生まれることを期待している。